

指導観	「発達」の段階一覧表」を踏まえた		
	内容項目の理解	実態把握	教材の活用
	客観的な見方が備わり、相手の立場で物事を考えられる発達の段階と中学校の「相互理解, 寛容」の内容を踏まえ、異なる意見や立場を尊重し、共によりよい考えを生み出そうとする道徳的判断力を育てたい。	自他を客観的に捉えたり、自律的な態度が発達する発達の段階から、考えが違ふ人を遠ざけたり、異なる意見や立場を受け入れることに抵抗を持つ児童がいる。	教材は「ブランコ乗りとピエロ」を活用する。客観的な見方や多面的な見方が備わる発達の段階を踏まえ、ピエロとサムそれぞれの立場で考えさせた上で、自分とピエロやサムの姿を比較して考えさせ、ねらいとする道徳的価値に対する自分の姿を自覚させたい。

ねらい 互いの立場や思いを尊重し合った二人と自分の姿を比較することを通して、謙虚な心を持ち、広い心で異なる意見や立場を尊重し、共によりよい考え方を生み出そうとする道徳的判断力を育てる。

手立て 自身を振り返ったり相手を尊重したりしながら、ピエロとサムが互いに分かり合ったことについて、児童が捉えられるように板書をする。

指導の手立ての具体（想定した児童生徒の反応から目指す姿までの過程）

実態把握から想定した児童の問題意識

考えの違う人がいると、考えを聞き入れられないことがあるな。

どうしても、話しやすい人と集まることが多い。

課題「人が分かり合うために、大切なことは何だろうか？」

人が分かり合うために大切なこと

自分を振り返り、人の考えや立場を認める。そして、伝える。

ピエロの憎む気持ちが消えた

- ・がんばっていたから。
- ・サーカス団のためだと分かったから。

認めたくない

- ・自分はそこまで本気だったか。
- ・自分も見直すべきところがなかったか。
- ・よりサーカス団を思っていたのはどちらか。

サムにとってピエロは

- ・俺のことを嫌っている。
- ・偉そうなことを言って！
- ・お前も目立ちたいだけ。

ピエロにとってサムは

- ・言うことを聞かない！
- ・新入りのくせに！
- ・自己中なやつだ。

サム

- ・よりよいサーカスにしたい。
- ・一生懸命な人。
- ・もっと腕を磨きたい。

ピエロ

- ・よりよいサーカスにしたい。
- ・みんなのことを思っている。
- ・サーカス団のまとめ役。

よりよいサーカス団として

皆さんは、人の考えや立場を大切に、互いに考えを伝え合うことができているですか。

目指す児童の発言や考え

聞いた方がいいと分かっている、否定されることを嫌がってしまう自分があるなあ。

人の考えを聞いて、違うと思ったときは伝えるようにしている。話し合うことは勇気があるけど大切だから。

第6学年道徳科学習指導案

指導月日 令和〇年〇月〇日

授業者 〇〇 〇〇

- 1 主題名 互いを尊重し、認め合う「B-(11) 相互理解, 寛容」
教材名 「ブランコ乗りとピエロ」(文部科学省 私たちの道徳 5・6年)

2 指導観

(1) 内容項目の理解

本主題は、小学校学習指導要領(平成29年告示)の次の内容を受けて設定されたものである。

第3章 特別の教科 道徳 第2 内容 [相互理解, 寛容]

[第5学年及び第6学年]

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。

中学年までに、自分と異なる考えや意見を大切にすることのよさを実感することを児童は学習してきた。また、高学年の児童は、相手の置かれている状況を自分自身に置き換えて想像する客観的な見方が備わりつつある時期であり、相手の立場に立って物事を考えられるようになる。そこで、高学年では、広い心で自分と異なる立場を尊重することで、違いを生かしたよりよいものが生まれるといったよさや、相手の過ちなどに対しても、自分に同様のことがあることとして謙虚な心、広い心で受け止め、適切に対処できるように指導する必要がある。なお、中学校の「相互理解, 寛容」の内容では、それぞれの個性や立場を尊重し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくことを学ぶことになる。

以上のことを踏まえ、本主題では、自分の考えや意見を互いに伝え合い、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重し、共によりよい考えを生み出そうとする判断力を育てたい。

(2) 実態把握

小学校の高学年は、自他を客観的に捉えることができるようになり、自分と人との考え方の違いを意識できるようになる。また、自律的な態度が発達し、自我に目覚める時期でもあり、自分の判断や意志を大切にできるようになる。

本学級の児童も、自分の考えを持って行動できるようになってきている。一方で、自分と考えが近い関係を大切にし、考えが違う人を遠ざけて固定化されたグループを作り始めている。また、相手の立場に立って物事を考えられるようになってきているが、異なる意見や立場を素直に受け入れることに抵抗を持つ児童がいる。

(3) 教材の活用

本教材は、同じサーカス団の中で対立していた「ピエロ」と「ブランコ乗りのサム」が、互いの考え方の違いを認め合い、サーカス団のために力を尽くそうという思いを持つという内容である。

自分の考えが認められないことに対する二人の葛藤や怒りについて、児童は共感できると考える。そこで、自他を客観的に捉えることができるようになる時期ということも踏まえて「ピエロ」と「サム」それぞれの立場で考えさせる。次に、サーカス団のために必死に取り組むサムの姿に心を打たれたピエロの考え方の変化を捉えさせる中で、自分の過ちを謙虚に受け止め、サムの立場や考えを尊重した価値観について児童に気付かせる。そして、二人が互いを尊重し合うことで、考えを認め伝え合うことにつながり、更には、それがサーカス団の意識の向上につながったことを捉えさせる。最後

に、ピエロやサム姿と比較して自己の生き方を振り返らせることで、自分に対する謙虚さや他者を尊重する心を持って、考えを伝え合うことの大切さや難しさを自覚させる。

以上のことから、客観的な見方や相手の立場に立って考え、物事を多面的な見方で考えることができる時期に、「相互理解、寛容」の内容を指導する際にふさわしい教材である。

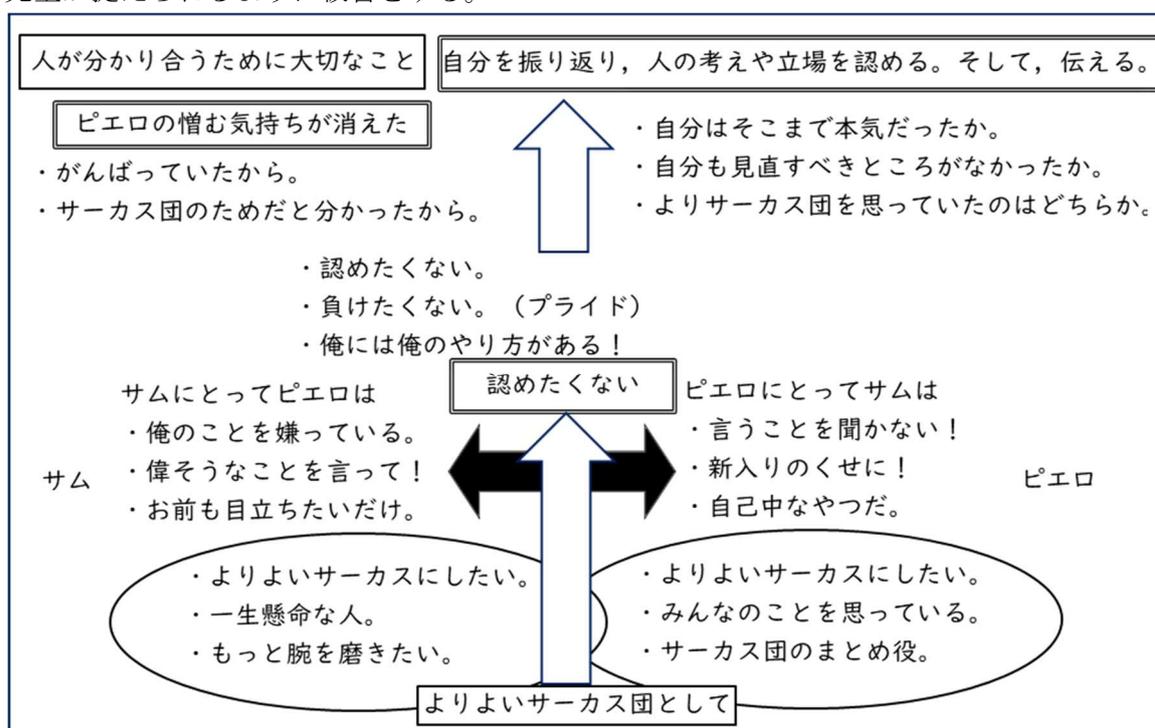
3 本時の指導

(1) ねらい

互いの立場や思いを尊重し合った二人と自分の姿を比較することを通して、謙虚な心を持ち、広い心で異なる意見や立場を尊重し、共によりよい考え方を生み出そうとする道徳的判断力を育てる。

(2) 手立て<板書の工夫>

自身を振り返ったり相手を尊重したりしながら、ピエロとサムが互いに分かり合ったことについて、児童が捉えられるように板書をする。



(3) 指導過程 (別ページ)

(4) 評価

<児童の評価>

○よりよいサーカス団を目指すサムの思いやサーカス団の和を大切にするピエロの考えを多面的に捉え、異なる思いを互いに尊重することが、よりよい考えや生き方につながることを理解できたか。

(多面的・多角的)

○「相手と分かり合うことの大切さ」を十分に自覚し、それを実現することの大切さや難しさについて、これまでの経験や今後の生き方と照らし合わせて考えることができたか。(自分との関わり)

<指導方法の工夫に対する教師の評価>

○「分かり合うために大切なこと」を視覚的に捉えられるように板書したことは、小学校高学年にふさわしい手立てだったか。

(5) 準備物

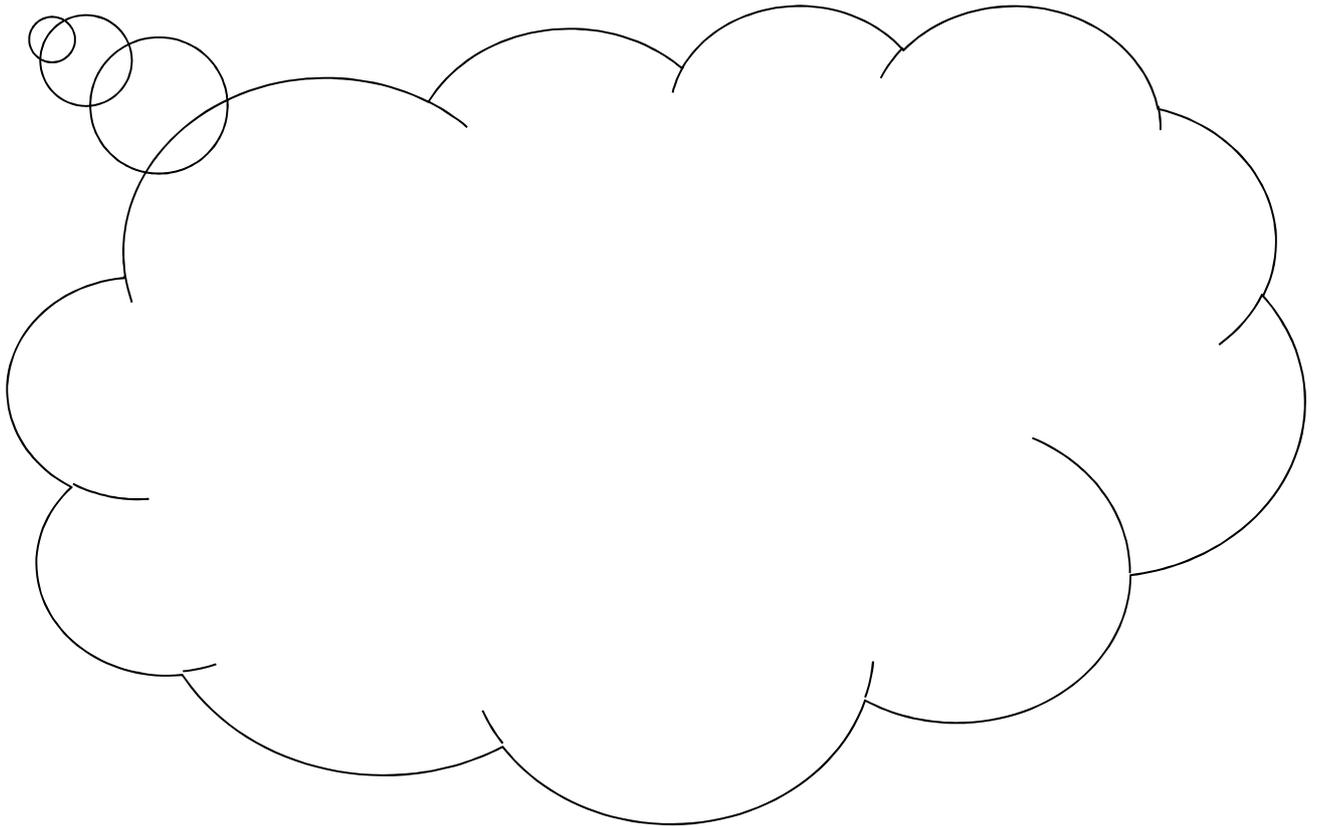
教師：教科書，ワークシート

指導過程

段階	学習活動 ○基本発問 ◎中心発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ○評価 【 】評価方法
導入 5分	<p>1 主題に関わる問題意識を持つ。</p> <p>○気の合う人や考えが近い人と関わることが多くなっていますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話しやすい人と集まることが多くなっているかも。 ・気の合う人と一緒のことが多いかな。 ・確かに、そういうことが多くなっているかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の発達で、気の合う人や考えが近い人で集まる傾向が強まることは一般的であることを押さえてから問い掛ける。 ・考えが同じ集団をつくって、違う考えの人を排他することが多くなることも伝える。
<p>人が分かり合うために、大切なことは何だろう。</p>			
展開 35分	<p>2 教材を読み、相互理解、寛容について考える。</p> <p>○最初、サムとピエロは相手のことをそれぞれどう思っていたのだろう。</p> <p>○客観的に見て、皆さんからはそれぞれがどんな人に見えますか。</p> <p>◎この後に、ピエロからサムを憎む気持ちが消えてしまったのはなぜでしょうか。</p>	<p><ピエロ→サム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言うことを聞かないやつだ。 ・新入りのくせに生意気だ。 ・自己中なやつだな。 <p><サム→ピエロ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・俺のことを嫌っている。 ・偉そうなことを言って！ ・お前も目立ちたいだけだ！ <p><児童→ピエロ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・偉そうだけど・・・。 ・仲間を大切にしている。 ・よくまとめている。 <p><児童→サム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーカスを盛り上げようと努力している。 ・サーカスの腕を磨きたいとがんばっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・互いに認めたくないんだね。 ・意地の張り合いをしている。 ・自分の方が偉いと考えて、受け入れる気持ちがない。 <ul style="list-style-type: none"> ・サムががんばっている姿を見たから。 ・サーカス団のために一生懸命だったことが分かったから。 ・全力で演技をする姿に感動したから。 ・私はここまで全力で演技していただろうか（謙虚な心）。 ・馴れ合いになってしまっていたか（謙虚な心）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピエロとサムの状況を押さえてから読む。 <p><手立ての具体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>自身を振り返ったり相手を尊重したりしながら、ピエロとサムが互いに分かり合ったことについて、児童が捉えられるように板書をする。</u> ・互いに相手に対して嫌悪の感情を持っていることを十分に捉えさせる。 ・客観的に見れば、互いにサーカスのために行動しているはずなのに、その思いが届かない理由を考えさせる。 ・自分の立場でしか考えられないことが、相手を避けたり嫌悪したりする感情につながるということを捉えさせる。 ・サムの演技と疲れ果てた姿を思い出している間に憎む気持ちが消えたことを押さえる。 ・児童の発言の様子から「感動した」「一生懸命だった」だけで憎む気持ちが消えるかを投げ掛け、その心情の奥にある「謙虚な心」や「相手の考えや立場を尊重する心」に気付かせる。

	<p>○ピエロの思いを受け止めて、サムの手は、どのように変わったでしょうか。</p> <p>3 自己の生き方について振り返る。</p> <p>○皆さんは、人の考えや立場を大切にしてい、互いに考えを伝え合うことができますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サムなりにサーカス団のことを考えていたのだ（尊重）。 ・もっとうまくなりたいという思いを持って取り組んでいたことがすごい（尊重）。 ・一緒にサーカスを盛り上げていけばよい（相互理解）。 <ul style="list-style-type: none"> ・サムもきつうれしかっただろうね。 ・サムも、自分が勝手だったことを反省したと思う。 ・みんなもっと話さないといけないと思っただろうね。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分はやっぱり気の合う人ばかり一緒にいて、考えが合わない人は避けてしまうことが多いな。 ・自分は、しっかりと考えを聞くように努力しているなあ。 ・自分も考えを聞いて違うときは違うと思うと伝えるようにしている。 ・自分は自信がないから、聞いて終わっているかも。 <ul style="list-style-type: none"> ・聞いた方がいいと分かっているけど、否定されることを嫌がる自分があるなあ。 ・どうしても、自分と違う考えを聞くと頭にきてしまうことがある。 ・考えを変えたり、話し合ったりすることは勇気がいるけど、とても大切だから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「謙虚な心」や「相手の考えや立場を尊重する心」に関連する発言が出されない場合には、「ピエロは、みんなのようにサムを見ていたか」を問い掛け、ピエロの至らなさに気付かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ピエロの思いを聞いたサムの心情を考えさせることで、互いに理解することの大切さを印象付ける。 ・「自分を振り返る」「考えや立場を大切にする」等のキーワードをまとめる。 <p>○多面的・多角的【発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピエロやサムと比べて自分のこれまでの生き方を振り返らせる。 ・「できていない」ことを記述する児童が多い場合は、その難しさを感じた理由を共感的に理解し、今後はどう在りたいかも考えさせる。 ・「できている」ことを記述した児童が多い場合は、異なる考えや意見を聞くことのよさを発言させる。 ・「謙虚な心で、異なる意見や立場を尊重すること」の難しさや「異なる考えを聞いて、新しい考えをもつこと」がよりよい生活や集団等につながっていくことを感じ取らせ、話し合いを終える。 <p>○自分との関わり</p> <p>【ワークシート、発言】</p>
<p>終末5分</p>	<p>4 道徳的価値に対する思いや考えをまとめる。</p> <p>○教師の説話を聞く。</p>		

人が分かり合うために



あなたにとって「相手と分かり合うこと」は・・・

スッキリ・なるほど!

モヤモヤ・悩んだ・・・。